

埼玉県老人クラブ連合会機関誌

令和4年
12月23日 NO.128

彩愛クラブ埼玉

SAIAI CLUB SAITAMA



彩の国

令和四年度第三回理事会

令和四年十二月九日（金）、東天紅JACK大宮店において第三回理事会を開催しました。出席者は理事十八名、監事二名で概要は次のとおりです。

議事録署名人

- ・会長 内田まさ子
- ・監事 清水 絹代
- ・監事 山路 孝

◆第一号議案「令和四年度県老連会長表彰被表彰者等の選考及び表彰状について」
原案のとおり承認されました。

◆第二号議案「令和四年度県老連創立60周年記念「埼玉県老人クラブ大会指導者研修会」について」
原案のとおり承認されました。

◆第三号議案「令和五年度事業骨子について」
原案のとおり承認されました。

◆第四号議案「県老連事業担当理事制度について」
原案のとおり承認されました。

※役割分担

1. 事業名（会員増強運動）
2. 担当 小林松十郎副会長
3. 内容 品川惣壽副会長
1. 事業名（友愛活動）
2. 担当 市町村老連への講演・説明・資料作成等
3. 内容 市町村老連への講演・説明
1. 事業名（友愛活動）
2. 担当 小林松十郎副会長
3. 内容 市町村老連への講演・説明

明・資料作成等

1. 事業名（シルバースポーツ大会）
2. 担当 藤野銀三副会長
3. 内容 久保谷昌夫副会長

作成等

1. 事業名（埼玉県老人クラブ大会）
2. 担当 品川惣壽副会長
3. 内容 谷合 傳治副会長

◆第五号議案「公益財団法人埼玉県老人クラブ連合会就業規則等の一部改正について」
原案のとおり承認されました。

◆第六号議案「令和五年度県老連事務局体制について」
原案のとおり承認されました。

◆報告事項

- 一、県老連会長感謝状
- 二、会員増強の手引きを活用「年間一単位クラブ純増二名プラン」のアンケートの提出について
- 三、会長、常務理事の職務の執行状況について
- 四、令和五年一月～三月の主要事業について

◆報告事項

- 一、県老連会長感謝状
- 二、会員増強の手引きを活用「年間一単位クラブ純増二名プラン」のアンケートの提出について
- 三、会長、常務理事の職務の執行状況について
- 四、令和五年一月～三月の主要事業について

忘年会

役員が一堂に会し久々の交流です。大宮駅近くの東天紅JACK大宮店にて一年ぶりに会長・副会長・理事・監事・女性委員会委員・会員増強委員会委員・広報委員会委員・事務局の面々が集い「令和4年度の忘年会」を開きました。午前は理事会で真剣な論議がなされたあとでの懇親の場です。

内田まさ子会長の穏やかな挨拶で宴がスタートです。10月に開催されたスポーツ大会以来の顔合わせの人や初めての顔など色々です。各地で活躍している面々なので、あっと言う間にうちとけ合っただけで会話もはずみました。昨年はこの場で笑顔を見せていた鯨井寛正会員増強委員長がいなかったのは寂しいものです。

写真は、参加された方々の集合写真です。

令和5年度はコロナの影響を受けずに自由に活動が出来るように期待しています。

さいたま市 渡辺 充



創造と連帯のシンボル
全老連 創立60周年記念会員章

全老連



直径17mm
(原寸大)

一口

1,000円

期間限定

2019年～2022年



皆さんの協力もあり混乱は生じませんでした。
 今回の開会式は参加者は観客席と変則的でしたが暖かい日差しを浴びながら好評でした。
 【開会式】
 品川惣壽県老連副会長による開会宣言の後、主催者として金子直史埼玉県福祉部長と内田まさ子県老連会長が挨拶をしました。続いて、各主管と県老連役員の紹介があり、そして開催地の小林哲也熊谷市長からも歓迎と激励のお言葉をいただきました。準備体操は久しぶりの「いきいき体操」です。指導は田中道子先生と春日部健康体操クラブの皆様です。

参加者が8時すぎにはドンドンと集まり始めました。感染予防対策としての体温の計測と確認のリストバンド装着をお願いしての受付作業です。



検温に協力いただきました

令和4年10月20日熊谷スポーツ文化公園の陸上競技場を中心とした施設で開催された。令和2年以来新型コロナウイルスの影響を受け開催は2回見送られてきたが、3年振りの開催となりました。競技種目は、ゲートボール、グラウンド・ゴルフ、ペタンク、ソフトテニス、ワナゲ、マグダーツの6種目です。
 大会当日は見事な秋晴れとなり県内各地から大勢の仲間が集いました。

競技風景を紹介

ペタンクの部



ソフトテニスの部



マグダーツの部



ワナゲの部



グラウンド・ゴルフの部



ゲートボールの部



次回も皆さんの参加をお待ちしています。全域から参加下さい。

さいたま市 渡辺 充

彩の国プラチナフェスティバル
令和4年度シルバースポーツ大会
結果

●ゲートボールの部

優勝 与野チーム(さいたま市) 3勝0敗 得失点差35

準優勝 岡部健康クラブ(深谷市) 3勝0敗 得失点差25

第三位 吉野一寿会(さいたま市) 3勝0敗 得失点差14

●グラウンド・ゴルフの部

優勝 団体戦 下樋遣川平成クラブ(加須市加須地域)

準優勝 伊奈町長寿クラブ連合会(B)(伊奈町) 151点

第三位 深谷市Bチーム(深谷市) 153点

個人戦 優勝 齋藤 のり子(加須市) 27点

準優勝 岩崎 菊雄(秩父市) 28点

第三位 加藤 マス(吉川市) 29点

●マブダーツの部

優勝 深谷市Dチーム(深谷市) 3142点

準優勝 大原長寿会(ふじみ野市) 3099点

第三位 宮内第二春秋クラブ(北本市) 3048点

〈ハイライト〉
ソフトテニス

ソフトテニスの決勝戦は80歳代対60歳代の戦いとなりました。第1ゲームは80歳代チームが先取。第2ゲームは長いラリーが続きどちらが主導権を取るか?ロングロブがラインを超えることが多くなり、60歳代チームが勝利。

参加者は中学校時代から続けている人が多く、相手の球を打ち返す動作が足腰を強くしていると聞きました。

グラウンド・ゴルフ

しっかりした芝のグラウンドでのゲーム。多くの方々は学校のグラウンドの土などでプレーが多く戸惑っている方もいました。でも2ホール位回るとグラウンドの芝の読みも出来たようで、思った距離で打てるようになったみたいです。



〈ペタンクのボール〉

●ペタンクの部

- 優勝 秩父荒川（秩父市荒川支部） 決勝リーグ2勝0敗1引き分け
- 準優勝 大沼町福寿会（秩父市秩父支部） 決勝リーグ2勝1敗
- 第三位 越生クラブ（連盟推薦） 決勝リーグ1勝1敗1引き分け

●ソフトテニスの部

- 優勝 尾方 国勇輝・小沼 珠江（久喜市） 5勝0敗
- 準優勝 高野 薫・松本 幸子（深谷市） 4勝1敗

- 第三位 代 勝己・関根 英美子（熊谷市） 3勝1敗
- 第三位 北 正三・原山 信子（行田市） 3勝1敗

●ワナゲの部

- 優勝 下高柳福寿会（加須市加須地域） 3499点
- 準優勝 深谷市Cチーム（深谷市） 3196点
- 第三位 堀兼（狭山市） 2982点

ワナゲ

優勝したチームの方の話では毎週の練習で注意している事は、ピンゴになるよう意識して投げる。ピンで言えば下段の⑧①⑥そして真ん中の⑤上段の④⑨②を取るよう意識している。これで確実に120点確保。後の2本の輪はおまけで入れればパーフェクト。皆さんも真似してください。

さいたま市 渡辺 充



(特集) 会員増強の手引き②

～声かけで仲間をふやそう～

◆目的

「会員増強の手引き」を活用した会員増強運動を実践するのに当たり、日頃の「声かけ=友愛活動」で、新しい仲間を増やし、単位クラブの活性化と若い会員に活躍出来る場を提供して活力を維持出来る体制を継続させましょう。



◆体制づくり

1 組織的に取り組みましょう

(1)市区町村老連内に「会員増強実行委員会」を設置しましょう。

- ①総括責任者を市区町村老連に本部を置く。
◆実行委員長は市区町村老連の会長又は、適任者を選出しても結構です。
- ②実行委員長がプランを作成し推進しましょう。
- ③支部長は、各地域の責任者となり、傘下の単位クラブの会長を指導しましょう。
- ④単位クラブ会長=運動の推進者です。
各単位クラブごとに「会員増強実行委員会」を設置。地域の実情に合わせたプランを企画会員と共に運動を推進しましょう。
- ⑤推進者=組長・班長を任命しましょう。



年度別クラブ会員数の減少数

年度	H29	H30	H31	R2	R3	計
減少数	5	7	10	8	13	43

▼過去5年の平均減少人数=43÷5=8.6÷9
◆増員目標数=9+2=11

喜楽会エリア区分図



2 クラブ内での推進方法

- ①増員目標人数を設定します。
過去の5年間の会員の減少人数を算出し、それに県老連の増員目標数を加算します。
- ②勧誘エリアの決定
クラブを組・班の数に細分化します。
- ③エリアの勧誘担当者を決定
組長・班長をエリアを担当者に任命します。
- ④勧誘方法を検討します。
▼クラブの実情に合わせて検討しましょう。
(例) 役員で紹介した友人を訪問
▼夫婦会員の未加入の方を勧誘。
妻は夫。夫は妻の加入をお願いします。
- ⑤勧誘期間を検討
▼短期間が望ましいです。(例) 1~2ヶ月
- ⑥勧誘日を検討
下記の天候の時は避けた方が良いでしょう。
(例) 雨天の日、風の強い日、気温の高い日、気温の低い日(15度以下)。

3 勧誘

- ①老人クラブをPRしましょう。
A ポスター、チラシを作成し、配布しましょう
B 単位クラブのロゴ入りのジャンパー等着用して活動しましょう。
C 地域の関係団体や自治会長に協力をお願いしましょう。
- ②勧誘方法は、クラブの状況と地域の現状に添ったやりやすい方法でよいでしょう。
(例) 勧誘時は、クラブ名がわかる服装で、身分証を首から下げ、少人数の男女複数のペアが望ましいです。

エリア		A	B
勧誘担当者名	男	川越一郎	古谷伸也
勧誘担当者名	女	山川花子	五輪言子
勧誘担当者名	男	坂田三吉	湯川栄介
勧誘担当者名	女	仙波波子	岸田弘子

4 勧誘記録を付けてみましょう。

(1)単位クラブ会長用

月	4月	5月	6月
1 訪問回数	3	3	1
2 訪問人数	3	3	1
3 電話回数	0	0	0
4 電話人数	0	0	0
5 体験人数	0	2	0
6 入会人数	3	2	1
7 脱会人数	2	0	0

(2)支部長用

単位クラブ名	合計	長命会
1 訪問回数	70	7
2 訪問人数	70	7
3 電話回数	15	0
4 電話人数	14	0
5 体験人数	9	2
6 入会人数	48	6

(3)具体的な進め方(単位クラブ)

- 1 会長が資料を準備、役員で紹介した友人宅を勧誘訪問することにした。
- 2 勧誘訪問日は、役員会で話し合っって決めた。

(4)推進上の問題点・反省点(単位クラブ)

- 1 6月は訪問日が雨天日となったり、と気温が36度以上となり、勧誘訪問を中止した。

(5)効果・評価(単位クラブ)

- 1 役員が一致団結して勧誘に取り組めた。
- 2 各人が友人を勧誘する習慣を持つ様になった。

喜楽会に入会のご案内

老人会は、気軽におしゃべりしたり、仲間とふれあう場所です。



自分の好きな活動を見つけましょう。



あなたも仲間です!

人生には、生きがいのある、楽しい出会いが沢山待っています。



●健康寿命を伸ばそう!
老人会に参加して、仲間と一緒に笑いがあると健康にプラス。

連絡先 224-0280
担当者 小林 松十郎

全国老人クラブ連合会創立60周年記念

全国老人クラブ大会

令和4年11月8日（火）午後1時30分より東京都墨田区両国の国技館で、「全国老人クラブ連合会創立60周年全国老人クラブ大会」が、天皇后陛下をお迎えして開催された。埼玉県老連の出席者は、内田まさ子県老連会長・落合事務局長以下16名でした。



私はこの大会に参加するために山手線に数十年ぶりに乗り会場に着いた。会場では入場者全員の持ち物検査（バッグを開いて中身の検査）、金属検査ゲートを通過の全身検査。また、飲み物（ペットボトル）の持ち込み禁止。全老連の招待者を証明する身分証明書を首から下げ、襟元に老人クラブ60周年記念バッチがないと入場できない、という厳重な警備のもと開催された。会場内では、表彰受彰者のみ一階、その他の出席者は二階で、コロナ感染防止のため前後・左右2座席ずつを離して着席した。テレビでいつも相撲中継を見ている会場にいるのだと感激しつつ、会場をキョロキョロ見渡している自分がいた。



1. 第一部式典

国歌演奏の後、村上海老連会長の開会の言葉、清家全老連会長の式辞、厚生労働大臣代理・東京都知事代理による挨拶の後、天皇陛下のおことばがありました。



(1) 表彰式

本県では、左記の方が表彰を受けられました。

◆厚生労働大臣表彰

① 育成功労者表彰



・ 玉水 きみ子氏
(埼玉県老連副会長)

② 優良単位クラブ表彰



・ 大宮プラザシニアクラブ
小藤 伸一氏
(さいたま市西区馬宮地区)

③ 優良老人クラブ連合会表彰



・川越市
老人クラブ連合会
小林 松十郎氏



・さいたま市大宮区
老人クラブ連合会
渡辺 充氏



◆ 全国老人クラブ連合会
会長表彰

① 育成功労表彰



・内田 まさ子氏
埼玉県老人クラブ連合会会長



・谷合 傳治氏
埼玉県老人クラブ連合会副会長

② 優良老人クラブ表彰



・FSCフラワースニアクラブ
所沢市富岡地区 薦田 健一氏



・梅田会
春日部市内牧地区 篠永 勝昌氏



・下前ことぶき会
戸田市下戸田地区
日名田 實氏

(2) アトラクション

◆ 「相撲甚句」

全日本相撲甚句協会の3名による素晴らしい熱唱。

2. 第二部講演

◆ 記念講演

作家 阿刀田高氏

「老いてこそユーモア」

ものごとには、いろいろな角度より見ると、異なった受け取り方がある。いつも、前向きに明るくユーモアをもって生きてゆこう。

◆ 次回大会開催地、児玉秋田県老連会長の挨拶と篠塚全老連副会長の閉会のことばで、この大会は閉幕。 川越市 小林 松十郎

川越市老連・会員増強

活動中間発表会

1 会員増強中間発表会実施

令和4年10月12日（水）午後1時30分より、川越市老連の研修指導部主催による「会員増強委員会」を川越市総合福祉会館で実施。本年度は4月～9月までの会員増強活動を報告する「会員増強中間報告会」として開催。出席者は会長・副会長と研修指導部員・事務局員の26名でした。また、来年の3月3日（金）には県老連の内田会長と事務局にも、ご来訪いただき「最終報告会」を開催することを計画しています。


2 発表会の進め方


石田研修指導部長の司会で会議が始まった。発表者は発表後、マスクをはずして記念撮影。
 (1)各支部の代表 1人5分間のスピーチ
 (2)発表の内容は、結果より、勧誘プロセスを重視。下記の4項目について発表した。
 ①各支部の会員の増強体制
 ②具体的な勧誘状況
 ③勧誘活動における問題点・反省点
 ④今後の活動と評価

3 発表のまとめ


(1)発表支部=18支部
 (2)増強委員会設立=3 既存の組織活用=15
 (3)加入数=124人 脱退=61人(中間の推定)
 (4)目的：優良事例の紹介と進め方・取り組み方の技の共有化
 (5)コロナ禍での初めての試みであったが対面勧誘の難しさ、個人情報への抵触、クラブ活動での勧誘などの苦労話が印象的でした。


4 各支部別の発表内容


(1)第1支部 上野 良治氏

 ①既存の組織を活用。
 ②単会のメインの活動を前面に出し勧誘。
 ③役員が会員増強への意識付けが低い。
 ④離職者の勧誘が効果有り。


(2)第4支部 石原 誠治氏

 ①既存の組織を活用。
 ②新設のマンションに的をしぼった。
 ③従来の同じ方法では増加できない。
 ④個人情報に抵触しないでやること。





(3)第5支部 小林 三夫氏

 ①既存の組織を活用。
 ②広報紙を配布しながらの勧誘。
 ③コロナ禍で集合ができない。
 ④勧誘の効果が有り、来年も頑張る。


(4)第6支部 大山 永弘氏

 ①既存の組織を活用。
 ②可能性のある相手を勧誘。
 ③口数が少なく、社会と繋がろうとしない。
 ④勧誘の成果にこだわらず、常に実施する。


(5)第7支部 宮崎 裕担氏

 ①会員増強委員会を設置単位クラブ2、既存の単位クラブが2。
 ②グラウンドゴルフを紹介して勧誘。
 ③60代～70代の方は働いている。
 ④今後は、町内をローラー作戦で勧誘。


(6)第8支部 黒澤 清郎氏

 ①会員増強委員会を設置。
 ②地域を4分割、会員の紹介者を勧誘。
 ③訪問日の天候と気温に問題あり。
 ④会員の紹介者以外のアプローチの仕方。


(7)第9支部 山谷 貞治氏

 ①既存の組織を活用。
 ②会員の友人関係を勧誘。
 ③個人での勧誘には限度がある。
 ④戦略的に考えてみたい。


(8)第10支部 高橋 仁氏

 ①既存の組織を活用。
 ②口コミで入会者が増えている。
 ③特に勧誘はしていない。
 ④なし


(9)第11支部 小島 賢三氏

 ①既存の組織を活用。
 ②休眠クラブの人を勧誘。
 ③顔が広い人を活用した。
 ④特になし


(10)古谷支部 横山 貞司氏

 ①既存の組織を活用。
 ②地域を2分割。5月と11月に活動する。
 ③無理な勧誘はしない。
 ④誰でもが入会したくなる活動をする。


(11)南古谷支部 天野 隆司氏

 ①既存の組織を活用。
 ②解散したクラブの会員を勧誘。
 ③高齢化で会員が動けなくなった。
 ④特になし


(12)高階支部 竹内 奨氏

 ①既存の組織を活用が11/18クラブ。
 ②GGや芸能大会の見学者を勧誘。
 ③口込みの声かけが、一番効果的。
 ④あらゆる面で活動を見直したい。


(13)大東支部 牛窪 行男氏

 ①既存の組織を活用。
 ②休眠クラブに声を掛けた。
 ③いもっ子体操で呼びかけた。
 ④市老連を脱退したクラブに呼びかけたい。

(14)大東支部 荻原 牧夫氏

 ①既存の組織を活用。
 ②いもっこ体操でアピール。
 ③戸別の勧誘はやっていない。
 ④年1回は訪問したい。

(15)霞ヶ関支部 鈴木 金作氏

 ①既存の組織を活用。
 ②ターゲットを絞りこむ。
 ③短期的な活動では無理がある。
 ④県・市老連で老人会の魅力のPRを要望。

(16)霞ヶ関北支部 堀 洋道氏

 ①会員増強委員会を設立。
 ②スーパー・商店街等で勧誘した。
 ③指示された活動方針は、なじまない。
 ④会の存在意義を認識、勧誘活動をする。

(17)名細支部 高橋 寿三氏

 ①既存の組織を活用。
 ②役員にやる気がなし。
 ③役員がこの活動に納得してくれない。
 ④お楽しみ会を増やしたい。

(18)川鶴支部 鶴見 工作氏

 ①独自に会員募集を行った。
 ②各サークルで勧誘して、老人会へ勧誘。
 ③一人では限界の為会員相互で。
 ④それぞれの立場で運動を推進したい。

川越市 小林 松十郎

春日部市いきいきクラブ連合会

単位クラブ会長研修会

令和四年十一月二十八日（月）春日部市総合福祉センター（あしすと）において、講師に県老連副会長（川越市老連会長）の小林松十郎 氏をお招きして、「会員増強」の研修会を実施した。参加者は、単位クラブ会長及び会員増強実行委員等三十九名であった。

当初は、年度の早い時期での開



催を予定していたが、コロナ禍のため、止む無く年末近くでの開催となった。また、当連合会でも毎年会員の減少が続いていることから、役員を中心に、「会員増強」への意識改革と実践のために、本研修会を開催したものである。講演内容は川越市老連の事例を



話された。

● 会員減少の理由

- ▼ コロナ禍での活動自粛
- ▼ 運転免許を返上して、会場へ行く足がない
- ▼ 年金生活で、参加費が高すぎる等

● 会員増強策

- 仲間を増やすには、誘う声かけが、一番効果がある！
- 黙っていても、人がよって来ない！

● 老人クラブの魅力を宣伝

- ▼ 地域に新しい仲間が出来る
- ▼ 心の安らぎと、充実感が得られる

● 勧誘からはじめよう

- ▼ 会長任せにせず、会員の総力で取り組む
- ▼ 友人、趣味の仲間を勧誘
- ▼ 自治会に協力を要請
- ▼ 体験入会を呼びかける
- ▼ 老人会の楽しさをアピール
- ▼ クラブをつくらう
- ▼ 未設置地域にクラブをつくらう
- ▼ 休会、解散クラブを復旧させよう

● 組織的推進をはかろう

- ▼ 会員増強委員会の設置
- ▼ 推進項目を検討する



- ・ 地域を勧誘担当別に分割
 - ・ 勧誘担当者を決める
 - ・ 勧誘のターゲットを決定
 - ・ 勧誘実施月を決める
- ▼ 勧誘
- ・ 少人数で天気の良い日に笑顔で
 - ・ 無理に加入を勧めない
 - ・ 体験入会に誘う

▼ 勧誘記録を残す
講演終了後、活発な質疑応答がなされた。

研修会参加者は、会員増強への認識を新たにして、約1時間の有意義な研修を終了した。

春日部市 今村 純雄

戸田市老連美女木一丁目長寿会

コロナ禍の「七夕さま」復活

平成18年より続けていた「七夕まつり」。毎回、会員が荒川の竹林から立派な笹竹を会館まで運んでくれた。感謝感謝です。「ふれあいサロンで折り紙の講習をして短冊を作り、願い事を書き込んだ。笹竹が重たくなる程の願いごとの多さに汗だくで飾り終え、笑顔で集合写真に収まった。



お茶会は会員仲間の畑からの新ジャガイモ、冷やしぜんざい作り等楽しくまた懐かしく思い出されます。

令和に入りコロナ感染症の為に活動が途切れ、未だ室内イベント禁止です。令和四年度事業計画に際し、友愛活動の季節のイベントに「七夕さま」の復活を計画した。7月7日「野外会場ラジオ体操」に引き続いての実施と決定した。



復活した七夕さまは、友愛担当者の協力で短冊を100個ほど手づくりし、当日公園の生垣を利用し飾り付けをし、参加者は喜びました。「大正琴クラブ」の演奏テープ「たなばたさま」を流して、参加者が歌いました。

社会福祉協議会と地域包括支援センターの職員も、参加して頂きました。又、町内会長からは、ラジオ体操へ一年間無欠席者の表彰があり、来場者には、お茶（ペットボトル）の差し入れを頂きました。

た。

参加者は、粗品、プレゼントと短冊を持ち帰りとなりました。

今回は、コロナで参加者が楽しみにしているお茶会が開催できなかっただったので、来年はお茶会をぜひ、開催したいです。



戸田市 石川 みよ子

熊谷市長寿クラブ連合会

「第46回熊谷市高齢者趣味の作品展」開催



令和4年11月18日(金)～21日(月)の4日間、「第46回熊谷市高齢者趣味の作品展」が開催されました。

会場は熊谷市緑化センター。主催は熊谷市・熊谷市長寿クラブ連合会。

この作品展に出品できる資格のある方は、熊谷市に住所を有する年令60歳以上の方で、一人一作品。出品料は無料です。高齢者の日頃の趣味と生きがいの発表の場になっています。また、出品者全員に参加賞が贈呈され、今年も多くの方に出品いただきました。趣味の作品展開催中、熊谷市長寿クラブ連合会は、午前2名、午後2名の役員が受付業務を担当しました。

- ① 出品作品数 合計一二二点
- ② 絵画(水彩画・油彩画・デッサン・水墨画・ちぎり絵・切り絵等) 31点。



- ③ 書(条幅・半紙・色紙・刻字・篆刻等) 7点。
- ④ 写真(パネル・額装等) 10点。

- ⑤ 文芸(俳句・短歌・川柳等) 11点。
- ⑥ 工芸(陶器・木工・編み物・パッチワーク等) 53点。

⑦ 会場の風景(一部分) 四日間の来場者数は、百六十六名でした。



熊谷市 藤野 銀三

編集後記

友人から「脳を元気にする音読のメリット」なる小冊子を頂いた。その一節にご存知の「河井醉茗」の「譲り葉」があった。詩を解し、音読を心掛けています。ここ数年のコロナ禍、近年の異常気象等、世界情勢と私達を取りまく環境は大変厳しいものがあります。

今、老人クラブでは会員の高齢化と減少が深刻な状況です。県老連では目標を決めて「年間1単位クラブ純増2名プラン」に取り組んでいます。

あなたのお力をお貸し下さい。「今まで実社会で培って来られた経験と知識等を、この地域社会に還元して下さい。共感し合える友と共に生き生きとした楽しいクラブにしましょう。そして「譲り葉」の如く、次世代へと、老人クラブを引き継ぎましょう。

「そしたら子供達よ。もう一度譲り葉の木の下に立って、譲り葉を見る時が来るでしょう。河井醉茗」

戸田市 石川 みよ子

「彩愛クラブ埼玉」は、赤い羽根共同募金の助成を受けて発行しています。

